

# 幸せの歌



JA宗谷南本所前に設置された乳牛の親子（9月8日設置）

**JA宗谷南**

**2014NEN  
10GATUGOU  
~SEASON37~**

# 役員視察研修

10月6日～8日の2泊3日で、十勝方面及び札幌方面へ視察研修へ向かいました。

初日は、午前7時に出発し、午後1時半に帯広かわにし農協の長いも工場に到着し、有塚組合長より説明を頂きました。

長いもは1965年頃、畑作物の輸入自由化に伴う離農が相次ぎ、その離農を防ぐために選択された作物でした。

それが、十勝の気候風土にマッチし栽培が定着、生産組合を作り、関係機関の力を借り、土壌病害やウイルス病を克服し成功していくが、輪作を余儀なくされ、4年～5年の間隔で輪作をしているという事でした。

また、長いもは、豊作貧乏と言われるほど、価格が安定しないため、今は、海外に輸出したり、価格安定に努力して、成功を収めています。

次に向かったのは、中札内村農協の枝豆工場です。

中札内村農協の枝豆工場は、もともと赤字続きの状態でしたが、山本組合長が就任した時、製品になったものを売る術を知らなかった事に気が付き、知人のデパート関係者などに売り込みをしながら、徐々に販路を広げたり、製品の保存にも液体窒素を使うなど試行錯誤を繰り返しながら、組合員、JA職員が一丸となり、生活を守るために製品の販売に尽力し、現在に至っている事を説明して頂きました。

両JAとも、組合長自ら詳細な説明をして頂きとても感銘を受けました。



JA帯広かわにし 有塚組合長



JA中札内村 山本組合長



搾乳ロボット説明



搾乳ロボット



くるるの杜事業説明



ハウス内のマンゴー栽培の説明



赤牛放牧風景

2日目は、北広島市にある、ホクレン「くるるの杜」にて、体験農場や、農村レストランなど事業内容の説明を頂いた後、千歳市にある（株）オリオントレーニングセンターへ視察に向かいました。

オリオントレーニングセンターでは、搾乳ロボットなど、最新の酪農機器についての説明を頂きました。

現在の搾乳ロボットは、千歳のオリオン事務所から、遠隔操作で各地の搾乳ロボットの状態を確認できたり、地域のサービスマンを呼んだり、畜主が不在であってもロボットの異常を確認できるようです。

また、手動でも搾乳ができるため、1台で2役をこなす事が出来、最新技術の進化に驚きを隠せませんでした。

3日目は、神内和牛でおなじみの浦臼町にある、農業生産法人神内ファーム21の視察を行いました。

神内社長は、大手消費者金融「プロミス」を創業した人物で、若いころから北海道農業に憧れ、70歳の時600畝の土地を手し、神内ファームを立ち上げました。

北海道の先人に迷惑をかけないようにと、北海道で栽培されていなかったマンゴーの温室栽培を始めました。

これは、北海道の寒さに負けない「克冬制夏」の精神があります。

また、ある時赤牛の肉を食べた所、他の和牛肉と比べ余分な脂が少なく食べやすい事に気が付き、将来お年寄りが食べられるような牛肉を販売したいという思いで、赤牛の生産に乗り出し、今では、神内和牛というブランドで広く知れ渡っています。

今回の研修で、常に立ち止まらずに先を見ていくと多種多様な選択が広がっているという事と、組合員と役職員の意思疎通がお互いの未来につながっていく事を感じ、研修を終えました。

# 実行組合長・振興会長視察研修

10月14日～16日の2泊3日で、実行組合長・振興会長の視察研修が行われました。

初日は、台風19号の影響で峠は積雪、平地では大雨となり、当初予定の音更町で開催されている、十勝肉牛市場見学を翌日へ変更して、帯広市のホテルへ向かい全員ほっと胸をなでおろし、夜の会食で無事到着を祝しての乾杯と、十勝の食を堪能しました。

2日目は、前日の天気うそのような朝からの快晴で、さっそく十勝肉牛市場見学へ向いましたが、牛もさることながら、家畜車などの車の多さに「さすが十勝！」と口々に驚きの声を上げ、十勝肉牛市場を後にし、鹿追町にある観光牧場の、大草原の小さな家とカントリーパワで、牧場見学やコーヒータイムを楽しみました。

その後、千歳市にある（株）オリオンのトレーニングセンターにて、近年注目されている、搾乳ロボットやキャリロボなどの最新酪農機器の説明を受け、その日の研修は終了となり、2日目という事で若干疲れは見ておりましたが、研修時点と同様の笑顔での会食となり疲れを癒しました。

最終日は、江別市にあるヤンマーアグリジャパン（株）本社工場へ向かい、大馬力のトラクターに目を丸くし、製品管理や農繁期の整備、製品発送などの様々な質問が飛び交い活気あふれる研修となりました。

初日以外は晴天にも恵まれ、全ての研修を終え帰路につきました。



十勝地区家畜市場



カントリーパワでコーヒータイム



オリオントレーニングセンター

## 地区懇談会

組合員懇談会が、9月10日に乙忠部コミュニティーセンター、11日に歌登支所で開催致しました。お忙しい中、お集まり頂きありがとうございます。議題は主にJAグループ北海道改革プラン案についてです。

改革プランは、規制改革会議で農業の競争力強化や産業化を実現させる目的のもと、平成26年5月に「農業改革に関する意見」を発表し、全農の株式会社化や中央会制度の廃止などが提起されました。それを受け、政府与党は平成26年6月に、農協改革に関わる意見を取りまとめ、「農協改革は自己改革に委ねる」ことを基本とし、農協系統組織に自己改革を求める内容を指示したのが始まりです。これに先立ち、JAグループ北海道は6月17日の全道農協組合長会議において、組織・事業の在り方の見直しを行う「改革プランの策定」を決定した次第です。

改革プランは2本柱からなっており、「始動、多様な価値観に応える北海道農業」の農業関係の改革プランと、「時代に即した協同組合への改革」の組織関係の改革プランの2つについて詳しく説明がされました。

農業関係の改革プランは主に3つあり、一つ目は「さらに儲かる農業の実現」、二つ目には「担い手を育みサポートする仕組みづくり」、三つ目に「発信！新時代の北海道農業」と言うことで、共計・共販体制を基本として組合員の多様なニーズに応える販売体制等の再構築、共同作業や機械・施設の共同利用を推進するなどによる収益向上・コスト削減の取り組み、JA・市町村等が連携、農業生産法人を核とした新規就農者の育成システムの構築などによる担い手の確保・育成などを今後さらに取り組みしていくことを説明しました。

組織関係の改革プランとしては協同組合の未来方向と言うことで、現場経験が長く、事業の様々な知識や情報をもった職員・再雇用者を「よろずサポーター」として配置し、総合相談窓口機能の発揮を目指したり、教育・研修の実施に加え、事業や組織活動、広報活動などの機会を活用し、広く協同の理念の浸透を図る取り組みなどを行っていくと説明しました。

また、事業別の方向性と言うことで、各事業での問題点と今後の取り組みについて話がありました。その後は組合員からの意見を聞き、「とりまとめ購買による安価供給が機能してしないのではないか。」などの様々な意見が出ました。

今回の懇談会などの場で、各農協は組合員からの意見を集約、報告し、JAグループ北海道改革プランは現在、組合員からの意見を取り入れ、成案化に向かっております。北海道農業・農協の今後を決める重要な改革になりますので、TPPとともに目が離せない状況です。

# 農業生産法人設立の為の説明会

9月19日に酪農振興センターで農業生産法人設立説明会が開催され、組合員22名が参加しました。

現状の酪農は、労働力不足や後継者の確保など営農が継続していかないという大きな問題を抱えており、それらの問題を解決できる糸口として、酪農においても法人化が注目されており、以前より組合員さんから、法人設立の為の説明会を開いてほしいという多くの要望があり、今回の開催に至りました。

J A北海道中央会本所の菅野氏を講師に招き、農業生産法人の形態や要件の違い、税法上で変わってくる事などの説明がありました。

また、将来の農業経営のビジョンに合った法人を立ち上げる事が大切と強く話されていました。



# 枝幸小学校社会科見学

9月11日、枝幸小学校3年生の社会科見学が、公共育成牧場で行われました。

当日は、急な大雨もあり、天候は良くありませんでしたが、子供たちは元気よく安部場長の案内で牧場内を見学していました。

なかでも、牛が実際に食べている牧草（サイレージ）のにおいを嗅いで、「こんな臭いものを牛は食べているの!!」と驚いていたり、トラクターが走行している所を見ては「すごーい!、かっこいい!」と、はしゃぐ場面もあり酪農の一端に楽しく触れる事が出来たと思います。

また、これからも子供達には、酪農に対して興味を持ってもらい、沢山牛乳を飲んでもらえればと思います。



# よくばりフェスタ2014

10月5日、岡島道の駅にてよくばりフェスタが開催されました。

当日は晴天にも恵まれ、多くの来場客で賑わっていました。

今年は、「札幌よしもと」より、きんもぐら、ツーマンセルの若手お笑いコンビ2組が司会進行役として抜擢され、きんもぐらの一人が、枝幸町出身という事もあり会場は大いに盛り上がっていました。

当農協は乳製品の消費拡大を目的に、青年部・女性部の協力を得て、じゃがバターと牛乳の無料配布・乳製品の格安販売を行いました。

じゃがバターと牛乳は500セット、乳製品の販売は300セット用意しましたが、どちらも開始早々に完売となる程好評でした。



# JA宗谷南青年部 宗青協スポーツ交流会



白熱した試合運びでした!!



開催挨拶を行う関口宗青協会会長



JA宗谷南青年部から、井上英之さんがアームレスリングに参加しましたが、残念ながら地区予選突破は叶いませんでした。



フットサル大会優勝はJA稚内青年部!!  
2位はJA中頓別青年部  
3位はJA宗谷南青年部でした。

9月18日、JA宗谷南青年部は宗谷地区農協青年部連絡協議会主催のスポーツ交流会へ参加するため、豊富町を訪れました。  
管内全てのJA青年部が参加し、フットサル大会が行われました。  
優勝は、JA稚内青年部で、当農協は3位となりましたが、とても白熱した試合でした。  
また、12月に開催される全道アームレスリング大会の地区予選も合わせて開催され、JA中頓別が、全道大会へ進出します。  
スポーツを通して、熱い交流と多くの酪農仲間が増え、これからの営農の励みになることと思います。

## 農村ホームステイ



食育活動の一環である、北海道農協青年部協議会主催の「農村ホームステイ」が9月21日～22日、今尚春さんの牧場で実施され、実習生に音標小学校の鈴木教頭先生が参加し、酪農家の一日を体験しました。

初日は、牛舎とミルクキングパラーの見学から始まり、機械整備や農作業機を実際に運転したり、搾乳などを体験し、その日の夜は、青年部盟友を交えての懇親会が行われ、酪農談義でおおいに盛り上がり、初日を終了しました。



2日目の朝は、給餌・搾乳・乳検などを体験し、作業が終わると今さんの家族と一緒に朝食を食べ、昨日に整備したレーキで牧草を集草し、ロールペーラーでロールが作られるところを見学しました。



酪農家の一日を体験して、「酪農家の仕事については牧草を収穫して、牛に与え、牛乳を搾るという単純な理解だったけど、実際はとても繊細な考えが必要な仕事だと思った、これからの教育で、今回の体験を生徒の教育に反映して行きたい」とコメントを頂き、帰路に向かいました。鈴木教頭先生お疲れ様でした。

# JA宗谷南女性部秋の研修旅行



平成26年9月29日～30日に女性部視察研修旅行が行われました。  
部員13名が、ニッカウヰスキー工場見学・階楽園でぶどう狩りを行いました。

NHK朝の連続テレビ小説「マッサン」の舞台である、ニッカウヰスキー余市工場を見学しました。

「マッサン」の放送に伴い、工場内は多くの観光客で賑わっていました。

そこで、ウイスキーの歴史・製造工程・日本のウイスキーの父「竹鶴政孝」の物語を見聞きし、夫婦で暮らしていた旧竹鶴邸など見学しました。

なかでも、一番好評だったのがウイスキーの試飲で部員の皆様は笑顔で楽しんでいました。

また、売店ではお土産としてウイスキーを購入する観光客で長蛇の列ができており、時間の都合もあるため、ここでの買い物は出来ませんでした。

ニッカウヰスキー工場見学の後、仁木町にある階楽園でぶどう狩りを行い、無農薬栽培の安心安全なぶどうを手にとり、箱一杯に詰め込みながら、様々な品種のぶどうを食べ比べ、秋の味覚を堪能し日頃の疲れを癒しました。



ウイスキーの試飲を楽しみました



数種類のぶどうの食べ比べたり、沢山のぶどうをお土産に買いました。

# 全道共進会

9月27日・28日に安平町早来で「第16回北海道総合畜産共進会」が開催されました。

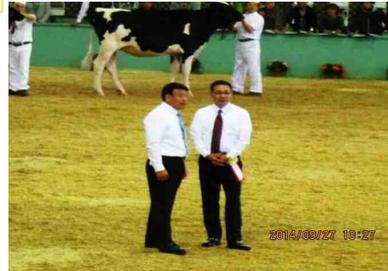
枝幸町から9頭の出陳がありました。

グランドチャンピオンに輝いたのは、釧路市の(株)敬和ファーム出品の「KWFサンチエリア ダーラム ビュー号」で、リザーブチャンピオンに輝いたのは、津別町の柏葉俊氏出品の、「オークリーフサ FFI号」でした。

当農協出品牛の成績は以下の通りとなっています。出品者の皆様お疲れ様でした。



リザーブ・グランド・チャンピオン  
グランド・チャンピオン



オフィシャル・ジャッジ (右)  
千葉 義博 (北海道ホルスタイン農協・審査部)  
アソシエイト・ジャッジ (左)  
小泉 俊裕 (北海道ホルスタイン農協・審査部)

## 成績

3部	2等5席	ビレッツアツプ スパイラル レミー	(内田 喜久男)
4部	2等1席	ニシキ フォーチュン ブラクストン リー	(赤坂 一弘)
4部	2等5席	マトア ブラクストン リー	(赤坂 一弘)
5部	3等賞	ポールスター アルタアメイジング ベルワード	(高橋 慶大)
8部	2等17席	JC ルデーシト シヤレツテイ	(澤田 和人)
9部	3等賞	オムラ ジヤスター ET	(小椋 義則)
10部	2等4席	オムラ トヌーブ アイオン	(小椋 義則)
12部	3等賞	M.F ロベル ハーンズ ラステイ	(関口 真也)
14部	2等2席	マトア クリス ゴールドウイン ステラ	(赤坂 一弘)

## 資材店舗秋の感謝

9月27日、資材店舗・Aコープ・給油所・メカニック合同で初の、感謝祭セールを行いました。

天候にも恵まれ売上目標も大きく上回り大成功に終わりました、忙しいなか来店して頂き、誠に有り難うございました。

合併後、初めて枝幸での感謝祭開催とあって一般のお客さんも数多く来店して頂き、冬に向け、除雪機やストーブ、スタッドレスタイヤなどを購入して頂き、普段資材店舗の中を見たことがないというお客さんも多く、酪農用品に興味深く見ていかれ、畑用の農薬など販売していることを初めて知ったというお客さんもあり、来年の販売に繋がる貴重なイベントとなりました。



# 育成牧場退牧

10月9日、町公共育成牧場の退牧が行われました。

若手酪農家や、町職員、農協職員らで退牧作業にとりかかりましたが、入牧時よりも100kg以上増体した、育成牛を相手に四苦八苦しなごらの作業でした。

当日、自牧場へと退牧したのは、およそ170頭で、残る430頭は、雄武町のアグリ牧場と、当牧場の牛舎へと移動し、10月16日に全ての放牧地からの退牧が完了となりました。



# ソフトボール大会

9月28日（日）に、枝幸町ソフトボール協会主催による、町民ソフトボール大会が開催されJA宗谷南も参加しました。

今回、枝幸町のPTA行事と重なった為、出場チームが少なく、参加3チームによる総当たり戦で行われました。

稚内市から参加したチームは、地元では軟式野球リーグで腕を磨いていますし、又、枝幸中学校野球部も今年は、管内外の大会等で好成績を収めており、そういった強豪ぞろいの中我がチームは、練習不足と、メンバー9名の内2名が50代と、大きなハンディを持った中で頑張りましたが、予想通り？最下位に終わりました。

しかしながら、スポーツを通し、汗を流し、職員間の交流も深めることが出来、最良の一日でした。

第1試合 高橋ジャパン 11-4 枝幸中学校野球部  
第2試合 高橋ジャパン 9-2 JA宗谷南  
第3試合 枝幸中学校野球部 8-4 JA宗谷南

1位 高橋ジャパン  
2位 枝幸中学校野球部  
3位 JA宗谷南



## 職員採用情報



工藤 ちあき

気軽に立ち寄れる給油所になるよう、勤めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## 編集委員

浦高森滝川伊村  
谷本川口合藤田  
正等忠直直太太  
憲 幸也樹良

